

鹿屋市

ボランティアグループ

鹿屋点訳友の会

35年近くの活動歴をもち、鹿屋市で最も古くから活動しているボランティア団体です。発足当時の時代背景を考えますと、その時代に視覚障害者の支援をとの思いは崇高な意思を持った方々の集まりだったと想像されます。この意思が連綿と流れてきた「鹿屋点訳友の会」。現在の会員は15名(会長 原 康子)で、年齢は30歳代から70歳代と幅広く、全員女性で構成されています。活動当初は点訳用の用紙もなく、絵本に直接点字を打っていたとのことですが、近年はタイプライターからパソコンとなり編集方法も変わってきているそうです。「この長い間、続いてきたのも市当局や市社会福祉協議会の指導や支援が大きい。」と原会長は言います。年間を通して活動する会員は家族の介護などで、社会とのつながりが希薄でも、点訳で社会とつながっている喜びや社会に対する有用感を持ちながら活動に精出しています。

点訳活動



毎月発行される「広報かのや」「社協だより」などや個人から依頼された本等を点訳して鹿屋市社会福祉協議会を通じて視覚障害者に届けています。また、鹿児島県視覚障害者情報センター(点字図書館)から依頼された蔵書も並行して点訳しています。

近年パソコンの普及により点訳作業も便利になり、会員が集合してのタイプライター作業から会員が各々の自宅で点訳し、編集担当の会員にメールで送付し編集しています。

点訳の啓発活動



市社協主催の「点訳奉仕員養成講習会」の支援や鹿屋市内の小・中学校が行うボランティア教室での点訳指導や福祉体験講座の支援などを通して、視覚障害者や点訳ボランティアの理解と啓発に努めています。また、赤い羽根共同募金の街頭活動や鹿屋市ふれあいスポーツ大会・視覚障害者協会の総会・役員会などのお手伝いもしています。

「小さな親切」運動鹿児島県本部主催
**「小さな親切」作文コンクール
 入賞者(校)決まる!**

特別賞

● 鹿児島県知事賞



「ひみつのみずかけ」
 始良市立蒲生小学校 一年
 とつやま みき

● 鹿児島県教育委員会賞



「出会いへの一歩」
 県立鶴丸高等学校 三年
 秋元 遥

● 鹿児島県連合校長協会賞



「わたしの変化」
 曾於市立中谷小学校 五年
 延時 優香

● 「小さな親切」運動鹿児島県本部賞



「小さな親切ポスト」
 鹿児島市立伊敷中学校 三年
 日高 環奈

学校賞

始良市立蒲生小学校
 霧島市立隼人中学校
 鹿児島県立鶴丸高等学校

学校奨励賞

鹿児島市立田上小学校
 薩摩川内市立西方小学校
 鹿児島市立伊敷中学校
 霧島市立舞鶴中学校
 鹿児島県立種子島中央高等学校